全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

〔第3種郵便物認可〕　毎　日　新　聞　2026年（令和8年）1月10日（土）　統12版　特　集　仮頁

第24回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

高校生が新しいサービスや商品を提案する「第24回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」（大阪商業大学、毎日新聞社主催）の最終審査が2025年12月13日、東大阪市の大阪商業大であった。最終審査に残った7組が壇上でプレゼンテーションに挑み、グランプリは愛媛県立土居高2年、米本羽琉希さん、石河玲凰さん、同1年、石川央昌さん、猪川寛史さん、後藤和真さんの「サイクル・ケア・タウン～自転車でつなぐ、健康と暮らしと地域の輪～」に決まった。他に準グランプリ2件、審査員特別賞4件、学校賞15校が選ばれた。

ひらめく 若い感性

学用品をレンタル
「スクールシェア」

準グランプリを受賞した（右から）田中稜夏さん、佐野夢空さん、林大樹さん

準グランプリ　愛知県立春日井泉高校

3年 佐野夢空（ゆうあ）さん
田中稜夏（りょうか）さん 林大樹さん

小中学校で使用する絵の具セットや書道セットなどの学用品を1週間単位で貸し出すレンタルサービスを考案した。佐野さんは以前から、学用品が高額だと感じていた。調べてみると、自分の学用品一式の購入費用は約1万8千円に上った。使用期間が短く、その後廃棄されることから、家庭の経済的負担や環境負荷につながると考えた。そこで、書道▽裁縫▽水彩絵の具▽アクリル絵の具▽彫刻刀のセットを貸し出すサービスを思いついた。

当初は1週間200円のリース料を想定したが、利用者にとって高すぎると考え、さまざまな数字で最適な価格をシミュレーションした。その結果、最初の1週間は700円、2週目以降は100円であれば、生徒側は購入する場合と比較して約18～25%の費用の節約になり、業者側も十分な収益を見込めるとした。その上で、破損や紛失に備えた1000円の保証サポートも設定し、保管の手間や紛失リスクの軽減も図った。

最終審査では、アイデアに共感した田中さんと林さんと3人で臨んだ。佐野さんは「受賞は励みだ。今後は学用品だけでなく、学校内の使われていない施設の休日の貸し出しなどにも展開できないか考えたい」と意気込んでいる。

余った商品 安く生徒に
「部活弁当シェア」

準グランプリを受賞した岸田雅楽さん

準グランプリ
大阪府立大阪ビジネスフロンティア高校
1年 岸田雅楽（うた）さん

近隣のパン屋の食品廃棄と部活動後の生徒の空腹という身近な課題をヒントに、スマートフォンのアプリを通じて店舗で廃棄予定の弁当などを生徒に安く提供するサービスを考案した。

きっかけは、近隣のパン屋が大量の商品廃棄に悩んでいると知ったことだ。友人たちからは「部活動後の空腹を満たしたい」とよく聞いていたため、需要と供給がマッチすると考えた。

店舗が余った弁当などをアプリに登録し、部活の終了時間に合わせてタイムセールを実施。生徒はアプリで商品を予約し、帰りにピックアップする仕組みだ。取引額の5%の手数料とスポンサー収入で運営し、月間5000食の取引で12万円～25万円の収益を見込む。

フードデリバリーやコンビニでは実現できない「安価」「部活時間帯の当日予約」「地域密着」を特徴とし、店舗側は廃棄コストの削減と商品のPR、生徒側は栄養のある食品を手ごろな価格で入手できるメリットがあることなどが評価された。

岸田さんは「まずは1店舗に協力をお願いし、学校で実証実験を実施したい。小規模から始め、段階的に拡大していけたら」と実現に向けて、先を見据えている。

まちづくりで課題を解決
「サイクル・ケア・タウン ～自転車でつなぐ、健康と暮らしと地域の輪～」

グランプリを受賞した（右から）米本羽琉希さん、後藤和真さん、石河玲凰さん、石川央昌さん、猪川寛史さん

グランプリ　愛媛県立土居高校

2年 米本羽琉希（はるき）さん 石河玲凰（れお）さん
1年 石川央昌さん 猪川寛史さん 後藤和真さん

自転車を活用して移動支援や健康づくり、観光促進などを一体的に行い、地域の多様な課題を解決するまちづくりのモデルを考案した。その上で、実現に向けて実証実験を重ねてきた。

地域デザイン部の先輩が、買い物に困難を感じていた祖母を助けようと、自転車での宅配サービスを思いついたことがアイデアの出発点だ。愛媛県四国中央市では、人口減少や少子高齢化、公共交通機関の減少、地域経済の停滞といった課題に直面している一方、県全体で見ると、「しまなみ海道」を中心にサイクリング文化が根付いていることに着目。買い物代行にとどまらない、自転車を活用したまちづくりを構想した。

まずは実現可能性を探るため、市内の高齢者・障害者福祉施設6件に電話で買い物代行への潜在的なニーズを聞き取り調査した。多くの人から「ぜひ利用したい」との声があったことから、11月3日に同市で開催された「第1回しこちゅー笑顔マルシェ」で自転車での宅配サービス「DoiEats」の実証実験を実施。1日で150件以上の注文を受け、7万円超の売り上げを達成した。利用者からは「若い人に元気をもらえた」との反響が寄せられ、企業からも協賛金を得るなど、手応えを感じた。

10月には、県の補助事業の一環で無料のサイクリングツアーも実施。当日は、市内の資料館やビーチを巡り、ご当地グルメの紹介や書道パフォーマンス甲子園の開催地であることにちなんだ書道体験を提供した。

これらの実践を通じて、宅配利用料、ツアー収入、企業協賛、自治体補助金を組み合わせた収益モデルが実現可能であるとした。

今後は、電動アシスト自転車で高齢者の外出を促進するほか、駅前の放置自転車を整備・修理し、経済的理由で自転車を持てない中学生などに提供することも考えている。石河さんは受賞に「自分たちの実践が評価されて嬉しい」、米本さんは「自転車を軸にしたまちづくりを推進していきたい」と笑顔で語った。

良い点伸ばし相乗効果
高崎商科大付属高校 角田諭志教諭

2年生の探究の授業で、県の魅力を高めるための新商品やイベントを考案し、「ビジネスアイディア甲子園」に応募しました。授業では、地元の良い点と悪い点を洗い出し、良い点をさらに伸ばす、良い点を組み合わせて相乗効果を狙う、悪い点を改善の種とする、といった視点で考えてみるようアドバイスしました。その上で、他県の自治体の成功事例を参考にすることが大事だと伝えました。今後は単なるアイデアで終わらせず、企業や地域と連携し、実際にイベント開催や商品販売まで行うことで、生徒のキャリア形成や社会貢献意識の醸成につなげたいと考えています。

学校賞

高崎商科大学付属高校（群馬県）
横浜市立みなと総合高校
武相高校（神奈川県）
静岡県立浜松商業高校
滋賀県立大津商業高校
滋賀県立国際情報高校
クラーク記念国際高校
大阪府立淀商業高校
大阪府立大阪ビジネスフロンティア高校
大阪府立鶴見商業高校
和歌山市立和歌山高校
岡山県立岡山東商業高校
岡山県立倉敷商業高校
香川県立高松西高校
愛媛県立松山南高校

失敗から考え挑戦を
谷岡一郎・大阪商業大学長

応募作品に順位をつけたが、私たちの見る目がなかったために、グランプリや最終審査に選ばれなかった作品もあるかもしれない。ぜひ、見返す気概で挑戦を続けてほしい。

本学のモットーとして、学生たちには「できるだけたくさんチャレンジし、できるだけいっぱい失敗しなさい」と言ってきた。失敗から「どこが悪かったか」「次はどうするか」を考え、チャレンジを諦めないことで、人生を切り開いていくことができる。

プレゼンテーションも同様に、失敗と成功を重ねることで表現力や伝達力が向上する。今日の経験を次の挑戦へと生かしてほしい。

身近な困りごと発見
柴田孝・審査委員長

自分や家族、地域といった身近なところから困りごとを見つけ、若い感性で課題解決策を考え、アイデアとしてまとめた作品が多かった。

いずれの作品もレベルが高かったが、アイデアの完成度の高さが受賞の差となった。グランプリ作品は、「地方ではウーバーイーツのような宅配サービスはできない」で終わらせず、実現可能なアプローチを模索。地域活性化まで見据えた視野の広さなどが評価につながった。準グランプリの「スクールシェア」は、学用品が一時期しか使われないことに着目。シェア自体は従来からあり得る解決策の発想だが、事業として成立する規模にまで踏み込んで計算しているところが一線を画していた。現代社会はすでに便利ではあるが、「まだまだここが足りない」と毎回教えてもらっている。

第24回全国高等学校
ビジネスアイディア甲子園

昨年12月13日に本学で開催した「第24回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」最終審査会・表彰式では、最終審査にノミネートされた7件のプレゼンテーション審査を行い、グランプリをはじめとする各賞が決定いたしました。ご参加いただいた皆様および関係各所の温かいご支援により、無事終えることができました。心よりお礼申しあげます。本学では今後も高等学校の皆様のご意向をお伺いしながら、より一層充実した事業にしていく所存です。引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

第24回（2025年）応募高校

●北海道
北海道旭川南高等学校
北海道大麻高等学校
クラーク記念国際高等学校 札幌白石キャンパス
●宮城県
宮城県大河原産業高等学校
宮城県名取高等学校
宮城県南三陸高等学校
●秋田県
秋田県立西目高等学校
秋田県立平成高等学校
秋田県立湯沢翔北高等学校
●茨城県
土浦日本大学中等教育学校
●群馬県
群馬県立高崎商業高等学校
群馬県立前橋商業高等学校
太田市立太田高等学校
高崎商科大学附属高等学校
●埼玉県
山村学園高等学校
●東京都
東京科学大学附属科学技術高等学校
東京都立葛飾商業高等学校
東京都立日比谷高等学校
愛国中学校・高等学校
大妻多摩中学高等学校
クラーク記念国際高等学校
佼成学園女子中学高等学校
佼成学園中学校・高等学校
桜丘中学・高等学校
成蹊中学・高等学校
三輪田学園中学校・高等学校
●神奈川県
神奈川県立相原高等学校
神奈川県立小田原東高等学校
横浜市立みなと総合高等学校
横浜市立横浜商業高等学校
関東学院中学校高等学校
武相高等学校
●富山県
富山県立富山商業高等学校
●石川県
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
●福井県
福井県立坂井高等学校
●山梨県
山梨県立都留高等学校
山梨県立富士北稜高等学校
山梨県立北杜高等学校
韮台甲府高等学校
●長野県
佐久長聖中学・高等学校
●岐阜県
岐阜県立池田高等学校
岐阜県立岐阜商業高等学校
岐阜市立岐阜商業高等学校
●静岡県
静岡県立伊豆伊東高等学校
静岡県立御殿場高等学校
静岡県立駿河総合高等学校
静岡県立浜松湖北高等学校
静岡県立浜松商業高等学校
静岡県立三島南高等学校
知徳高等学校
常葉大学附属橋中学校・高等学校
●愛知県
愛知県立愛知商業高等学校
愛知県立大山高等学校
愛知県立春日井泉高等学校
愛知県立吉和高等学校
愛知県立佐屋高等学校
愛知県立瀬戸北総合高等学校
愛知県立豊明高等学校
愛知県立豊川工科高等学校
愛知県立緑丘高等学校
●三重県
三重県立四日市商業高等学校
●滋賀県
滋賀県立大津商業高等学校
滋賀県立国際情報高等学校
滋賀県立長浜北星高等学校
滋賀県立八幡商業高等学校
近江高等学校
●京都府
京都府立京都すばる高等学校
京都府立向陽高等学校
京都府立嵯峨野高等学校
京都市立堀川高等学校
京都橘学園中学校・高等学校
京都明徳高等学校
●大阪府
大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校
大阪府立門真なみはや高等学校
大阪府立佐野工科高等学校
大阪府立四條畷高等学校
大阪府立鶴見商業高等学校
大阪府立豊中高等学校能勢分校
大阪府立富田林中学校・高等学校
大阪府立淀商業高等学校
東大阪市立日新高等学校
大阪商業大学高等学校
大阪緑涼高等学校
好文学園女子高等学校
専修学校クラーク高等学院 大阪梅田校
明浄学院高等学校
ルネサンス大阪高等学校
●兵庫県
兵庫県立明石北高等学校
兵庫県立有馬高等学校
兵庫県立伊丹高等学校
兵庫県立小野高等学校
兵庫県立加古川南高等学校
兵庫県立洲本実業高等学校
兵庫県立豊岡総合高等学校
尼崎市立尼崎双星高等学校
神戸星城高等学校
親和中学校・親和女子高等学校
●奈良県
奈良県立五條高等学校
奈良県立奈良商工高等学校
奈良県立山辺高等学校
奈良大学附属高等学校
西大和学園中学校・高等学校
●和歌山県
和歌山県立向陽高等学校
和歌山県立田辺高等学校
和歌山県立和歌山商業高等学校
和歌山市立和歌山高等学校
●鳥取県
鳥取県立米子東高等学校
●島根県
島根県立浜田商業高等学校
●岡山県
岡山県立岡山操山高等学校
岡山県立岡山東商業高等学校
岡山県立岡山南高等学校
岡山県立邑久高等学校
岡山県立笠岡商業高等学校
岡山県立鴨方高等学校
岡山県立倉敷商業高等学校
岡山県高梁市立松山高等学校
倉敷翠松高等学校
●広島県
広島県立呉商業高等学校
AICJ中学・高等学校
●山口県
宇部工業高等専門学校
山口県立熊毛北高等学校
●徳島県
徳島県立池田高等学校 辻校
徳島県立徳島商業高等学校
●香川県
香川県立高松西高等学校
●愛媛県
愛媛県立今治工業高等学校
愛媛県立土居高等学校
愛媛県立新居浜南高等学校
愛媛県立松山南高等学校
愛媛県立八幡浜高等学校
●高知県
高知県立伊野商業高等学校
高知県立佐川高等学校
●福岡県
福岡県立福島高等学校
久留米市立久留米商業高等学校
九州産業大学付属九州高等学校
●佐賀県
佐賀県立佐賀商業高等学校
●長崎県
長崎県立口加高等学校
長崎県立島原商業高等学校
●熊本県
熊本市立千原台高等学校
熊本市立必由館高等学校
●大分県
大分県立大分商業高等学校
大分県立国東高等学校
別府溝部学園高等学校
●宮崎県
宮崎県立門川高等学校
宮崎県立富島高等学校
宮崎第一中学高等学校
●鹿児島県
鹿児島県立大島北高等学校
●沖縄県
沖縄県立中部商業高等学校

大阪商業大学
Osaka University of Commerce
■公共学部　公共学科
■経済学部　経済学科
■総合経営学部　経営学科 商学科

お問い合わせ
大阪商業大学 総合交流センター
（総合交流支援課）〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10
PHONE：06-6785-6286　FAX：06-6785-6133
E-MAIL：koshien@jops1.daishodai.ac.jp

プレゼンの様子はこちらから

一般入試前期 出願受付中
【出願期間】1/5(月)～1/22(木)【試験日】2/1(日)・2/2(月)
最大4学科・複数日出願でも入学検定料は10,000円!
【広報入試課】06-6787-2424
【詳細は本学WEBサイトまで】https://ouc.daishodai.ac.jp

毎日新聞社の許諾を得て転載しています。